

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

地元の声

- ・災害時の通行止めで村が孤立しないよう早く整備してほしい。（地元住民）
- ・道路が狭く車両のすれ違いに支障があるので、早く整備してほしい。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：嬬恋村鎌原～嬬恋村田代
- 事業内容：バイパス整備 延長 12.1m 道路幅 9.5m
- 事業期間：令和7年度～
- 緊急輸送道路：該当（第一次緊急輸送道路）
- 重要物流道路：該当

- 現在の交通量：6,041台/日(国道144号)
(R3年度)
- 計画交通量：6,700～7,100台/日(バイパス)
(R22年度) 2,300台/日(国道144号)

事業前

- ◆ 線形不良箇所が18箇所あり、交通事故の危険性がありました。
- ◆ 令和元年台風19号の影響による道路崩壊により、孤立集落の発生と約1年10ヶ月間の通行止めが発生し、長期にわたり迂回路の利用を余儀なくされました。



事業後

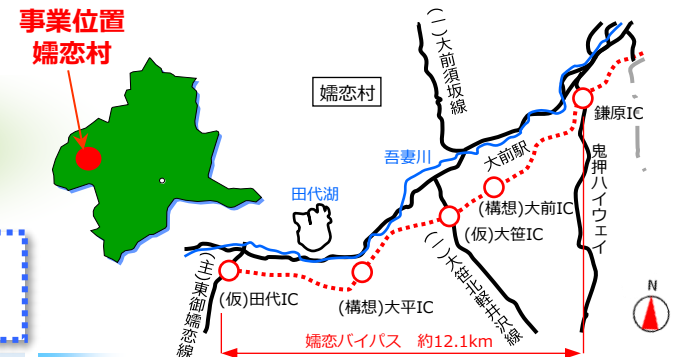
- ◆ 幅員が広く、見通しの良い道路となります。
- ◆ バイパスを整備することで、災害時等における孤立化リスクが軽減され、安定性と利便性が向上します。



成果を示す項目	実施前
災害時等の孤立化リスクの解消	現道通行規制 H18～R6:13回
線形不良箇所	18箇所

実施後(目標)
バイパス完成により解消
バイパス完成により回避(18箇所減少)

バイパス道路をつくります



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は地元説明会を実施し、測量業務に着手しました。令和8年度は引き続き測量業務を進める予定です。

